



「わたしたちは、そろっている。」

振付・演出：白神ももこ

出演：白井梨恵、北川 結、仁科 幸、埴 睦美、夕田智恵、白神ももこ (以上、モモンガ・コンプレックス)、西井夕紀子、神田さやか、Yuima Enya、内海正考

音楽監督：西井夕紀子

舞台美術：佐々木文美 (快快)

舞台監督：櫻井健太郎

舞台監督助手：松谷香穂

大道具製作：(株)ステージファクトリー

音響：星野大輔、今里 愛 ((株)エスエフシー)、宮崎淳子

照明：中山奈美

照明オペレーター： 蘭 智咲

照明プログラマー： 勝本英志

照明アシスタント： 古矢涼子

映像：ワタナベカズキ、戸塚ヤスタカ

衣裳：白井梨恵

衣裳管理：小山つかさ

衣裳協力：西山梨香 (AOL／一刻者)

宣伝美術：一野 篤

【楽曲収録】

演奏：あだち麗三郎、宮坂洋生、Fumie (FALSETTOS)、

Ingel (FALSETTOS)、Miuko (FALSETTOS)

レコーディングエンジニア：片岡 敬

楽曲提供：Miuko (FALSETTOS)

記録写真：三浦麻旅客

協力：藤田有紀彦、重岡在都子、加藤典子、欠田芳憲、

急な坂スタジオ、(株)ART CORE

参考文献：岩波文庫『対訳 ブレイク詩集 イギリス詩人選(4)』(松島正一 編)

制作：萩谷早枝子

主催：フェスティバル/トーキョー

“We assemble together”

Choreographed and Directed by Momoko Shiraga

Performers: Rie Usui, Yu Kitagawa, Miyuki Nishina, Mutsumi Hanawa, Chie Yuda, Momoko Shiraga (all for Momonga Complex), Yukiko Nishii, Sayaka Kanda, Yuima Enya, Masataka Uchiumi

Music Director: Yukiko Nishii

Stage Design: Ayami Sasaki (FAIFAI)

Stage Manager: Kentaro Sakurai

Assistant Stage Manager: Kaho Matsutani

Set Production: Stagefactory

Sound: Daisuke Hoshino, Ai Imazato (SPC), Junko Miyazaki

Lighting: Nami Nakayama

Lighting Operator: Chisaki Araragi

Lighting Programmer: Eishi Katayama

Lighting Assistant: Ryoko Furuya

Video: Kazuki Watanabe, Yasutaka Totsuka

Costumes: Rie Usui

Dresser: Tsukasa Koyama

Costumes in cooperation with Rika Nishiyama (AOL/ikkokumono)

Publicity Design: Atsushi Ichino

Music Performers: Reisaburo Adachi, Hiroo Miyasaka, Fumie (FALSETTOS),

Ingel (FALSETTOS), Miuko (FALSETTOS)

Recording Engineer: Takashi Kataoka

MUSIC: Miuko (FALSETTOS)

Photography: Mariko Miura

In cooperation with Yukihiko Fujita, Satoko Shigeoka, Noriko Kato,

Yoshinori Kaketa, Steep Slope Studio, ART CORE

Production Coordinator: Saeko Hagiya

Presented by Festival/Tokyo

フェスティバル/トーキョー20
会期 令和2(2020)年10月16日(金) - 11月15日(日)
会場 東京芸術劇場/トランバル大塚/豊島区内商店街/F/T remote (オンライン会場)ほか

フェスティバル/トーキョー実行委員会

顧問 野村 高 (公社)日本芸能実演家団体協議会会長 能楽師

名誉実行委員長 高野之夫 豊島区長

実行委員長 福地茂雄 (公財)新国立劇場運営財団 顧問 (公社)企業メセナ協議会 顧問

副実行委員長 市村作知雄 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン 顧問

藤田 力 豊島区文化振興課長

小澤 弘一 (公財)としま未来文化財団 事務局長

委員 尾崎元規 (公社)企業メセナ協議会 理事長

花王株式会社 顧問

熊倉純子 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授

アサヒグループホールディングス株式会社 日本統括本部 事業企画部 理事

渡邊裕之 東京商工会議所豊島支部 会長

水井多恵子 (公財)せたがや文化財団 理事長

小倉 桂 豊島区文化商工部文化デザイン課長

蓮池奈緒子 (公財)としま未来文化財団 企画部長 (豊島区立舞台芸術交流センター) 支配人

米原晶子 NPO法人アートネットワーク・ジャパン 理事長

長島 藤 フェスティバル/トーキョー ディレクター

河合千佳 フェスティバル/トーキョー 共同ディレクター

萩原円花 フェスティバル/トーキョー 事務局長

能登絹子 豊島区総務部総務課長

監事 福井建策、北澤尚登 (得意通り法律事務所)

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局

ディレクター 長島 藤

共同ディレクター 河合千佳

事務局長 萩原円花

制作 藤島麻希、嶋田敬介、柚木桃香、鈴木千尋、藤井友理、長田崇史、山縣昌雄、

猪狩裕子、岩間麻衣子、植松侑子 (合同会社syuz.gen)、金井美希、司田由幸、

萩谷早枝子、宮内芽依、宮武亜季、宮水晶子 (合同会社syuz.gen)

コミュニケーションデザイン(広報/教育普及) チーフ 小倉明紀子

コミュニケーションデザイン(広報/教育普及) 名取萌音、岡野乃里子、細川浩伸

コミュニケーションデザイン(広報/教育普及)アシスタント 森川清成、植田あす美

票券チーフ 武井和美

渉外 太田志保

経理 堤 久美子

五藤 真、中山恭一 (株式会社countroom)

総務 米原晶子

技術監督 寅川英司

照明コーディネーター 木下尚己 (株式会社ファクター)

音響コーディネーター 相川 晶 (有限会社サウンドワーズ)

アートディレクション 高田 唯 (Allright Graphics)

デザインコーディネーター 北條 舞 (Allright Graphics)

デザイン 齊藤拓実 (Allright Graphics)

イラスト 芳賀あきな

音楽 (PR動画) 東郷清丸 (Allright Music)

PR動画 ダイノサトウ

ウェブサイト 相澤 俊 (Mtame株式会社)

海外広報・翻訳 ウィリアム・アンドリュース

作品紹介文 鈴木理映子

主催 フェスティバル/トーキョー実行委員会 豊島区/公益財団法人としま未来文化財団/NPO法人アートネットワーク・ジャパン、東京芸術実行委員会 (豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、公益財団法人東京都歴史文化財団 (東京芸術劇場・アーツカウンシル東京))

「トランスフィールド from アジア」助成 国際交流基金アジアセンターアジア・文化創造協働助成

後援 外務省、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、J-WAVE 81.3 FM

特別協力 西武池袋本店、東武百貨店池袋店、東武鉄道株式会社、サンシャインシティ、

ジュンク堂書店 池袋本店、理想科学工業株式会社、星野リゾート OMO5東京大塚

協力 東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区町会連合会、

一般社団法人豊島区観光協会、一般社団法人豊島産業協会、公益社団法人豊島法人会、

池袋西口商店街連合会、特定非営利活動法人ゼファー池袋まちづくり、

ホテルオビワリタナ、ホテルグランドシティ、池袋ホテル会、

サンシャインシティプリンスホテル、ホテルリゾル池袋

宣伝協力 株式会社ポスターハリス・カンパニー



公益財団法人
としま未来文化財団
Toshima Mirai Cultural Foundation

ANJ Arts Network Japan

ANJ Arts Network Japan
TokyoTokyo
FESTIVAL

NPO法人アートネットワーク・ジャパン

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

ARTS COUNCIL TOKYO

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

発行：フェスティバル/トーキョー実行委員会 〒171-0031東京都豊島区白土5-24-12 旧真和中学校4F TEL: 03-5961-5202 FAX: 03-5961-5207 https://www.festival-tokyo.jp/20.html

編集：フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 編集協力：鈴木理映子 アートディレクション：高田 唯(Allright Graphics)

デザイン：山田智美(Allright Graphics)



山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

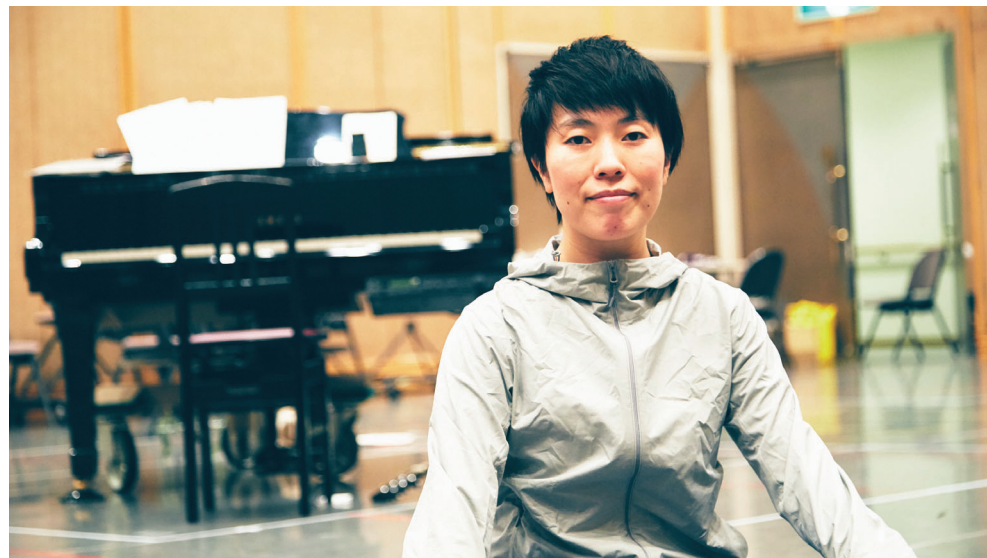
山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美
Yamauchi Tomomi
2020

山田智美

ばらばらでいながら、そろろう。

——白神ももこ(モモンガ・コンプレックス)インタビュー



振付家・演出家 白神ももこによる、ほっこりさせる親密感と笑みを誘う生まじめさが絶妙の塩梅で共存する独特の世界を展開してきたモモンガ・コンプレックスが、新作『わたしたちは、そろっている。』を上演する。

モモンガ・コンプレックス(以下、モモコン)は、白神ももこと、衣装デザインや保育士、イラストレーター、パリストなど、それぞれ異なる職能を持つ多彩なパフォーマーで構成される「ダンス・パフォーマンス的グループ」である。一見無意味でとるに足らない日常的な事象に焦点を合わせ、水が低きに流れるように自然だが目をそらさない求心力で観るものを現実の向こう側に運んでゆく作品世界は、近年特に音楽家との協働を取り入れ、ますます良い塩梅で熟成してきた。

「観察型ミュージカルのダンス・パフォーマンス」と題された新作は、シアターイーストの空間全体を使った回遊式作品だ。出演者たちは会場内に点在する自分の「個室」で、6時間にわたってそれぞれのパフォーマンスを繰り返す。個室は劇場内に6部屋、ロビーに1部屋あり、観客はその周辺を自由に回遊する形となる。60分ずつの入れ替え制で1日3回公演だが、内容は3回とも違うものになる。

「お客さんは場所や時間によってまったく違うものを観ることになります。それぞれがバラバラなことをやってい

るのに、それでも“私たちはそろっている”と言い切りたい。並列化される揃い方ではなく、地球的には共に存在し揃っていると。それはモモコンが10年かけて追いかけてきたテーマでもあります。同じ時間・同じ場所においても、私たちは同じものは見ていない」と白神は語る。

これまで白神とモモコンは、劇場公演だけでなく屋外やギャラリーなどさまざまな空間で、「見えないこと」をテーマに作品を発表してきた。『遠くから見ていたのに見えない。』(2017年 BankART Studio NYK)、『幻想曲』(2020年 キラリ☆ふじみ)、そしてコロナ禍にオンラインで配信された『モガ渓谷』(2020年 キラリ☆ふじみ)。いずれも客席の位置によって舞台上に死角があったり、ライブ感満載なのに全貌が見えないなど、観るものをむずむずさせるような心憎い仕掛けが施されていた。劇場に身体を運びさえすれば、見切れなしで舞台の全体像を見渡せることが当たり前であった上演のありように、ここ数年にわたり一石を投じてきたのだ。

本作ではさらに「配信公演」のありように対しても果敢に挑んでいる。各回のインターバル90分の無観客の時間、スタッフが消毒や転換の作業を行うあいだも、演者たちは自身の個室でパフォーマンスを続けるかもしれないし、続けないかもしれない。ただし、この時間も6時間ぶっ通しでライブ配信が行われ、舞台空間は「個室」であ

りながらも限なく注視される。これはもはやグローバルスタンダード化した、会議も飲み会も芸術鑑賞も「終日オンライン一択」の“コロナシフト”に似ていなくもない。

「お客さんは一度に1人のパフォーマンスしか観られないので、あれ見逃した?とか、ああ!あちにいれば(涙)という事態もあり得ますが、そこを想像で補うこととなります。あいつどうしてるかな、もしかしたらいま猛烈に踊ってんじゃないか、と演者のことをたまに思い出したりして、マインドを切り替えながら観てほしい」と白神はいつものように飄々と答えてくれた。

もちろん「観察型」とは演じる側だけのことではない。配信のカメラはパフォーマーだけでなく観客の反応や動きもつぶさに捉えている。「生き物の習性みたいに、光ってるところに集まるとか、音がする方角へ向かうとか」(白神)、客席に座ったままの観劇とは違う、回遊式ならではの単独行動の特徴もあらわになることだろう。

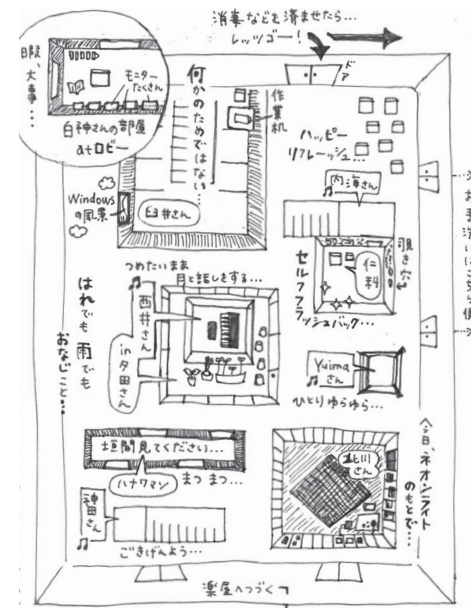
このようにフィジカルにもソーシャルにも新しい“距離感”を織り込んだ本作の構成は、平安時代に編まれた『伊勢物語』を始めとする歌物語を意識して創作されている。『伊勢物語』が貴族で歌人の在原業平を軸とするのに対し、この歌物語の主人公は離れている個々の出演者であり、共に新しい日常を生きている群像でもある。さらに彼らの歌のやり取りに呼応する形で、事前にオンラインで短歌を募集することを構想中だという(10/15現在)。

音楽監督に作曲家・西井夕紀子を迎えた本作では、楽曲と共にスケッチ(場面)の数々を紡いでいくミュージカルの演出も見どころの1つだ。ミュージシャン4名(ピアノ1名、歌手3名)のライブ演奏が、同時進行する「個室」のパフォーマンスをふわりと覆い、空間と時間を貫くこととなる。

「今回はダンサー個々に振り付けているので、(群舞やユニゾンのような)揃った振付はなく、ダンスの醍醐味的なシーンは少ないです。オリジナルの楽曲と歌唱を頼りに進行し、音だけが空間にいる人みんなに等しく降り注ぐ形になります」と白神。

「ミュージカルのダンス・パフォーマンス」と銘打ってはいるが、本作の時間の流れ方はいわゆるミュージカルやジャズセッションのような丁々発止の掛け合いとはまったく違うものになるはずだ。(リハーサルを観た印象では)そこにたゆたうのは、平安貴族の恋文のように、離れ離れの「個室」の御簾の奥に隠れた演者たちがじっくりと考えて歌を詠み、返歌を投げ合う悠久の時間である。

本作の時間軸について構想を練っていたとき、白神は2019年にベネチア・ビエンナーレのリトアニア館で観たインスタレーション『Sun & Sea(Marina)』を思い出したという。これはリトアニアの女性アーティスト3人によるオペラパフォーマンスを盛り込んだ作品で、この年の最優秀パビリオンに贈られる金獅子賞を受賞した。中世から使われている海軍施設のなかに仮設のビーチが造られ、思い思いに海水浴を楽しむ人々に扮したオペラの俳優たち



ダンサー、仁科幸がHand Saw Press「とびだせ!ガリ版印刷発信基地」とのコラボレーション企画のために用意したZINE原稿

が、環境破壊や労働問題などについてわかるがわる歌いあう。鑑賞者はその様子を上階の回廊からジオラマのように俯瞰的に覗き込む。

この作品の時間の流れ方と観客との距離感に美しさを感じたという白神は、パフォーマンスアートや劇場の機構が今後どのように変化していくべきかを考える上でもヒントにした、と語っている。

コロナ禍のこの機に満を持して上演される『わたしたちは、そろっている。』。本作の何よりも大きなチャレンジとは、従来の舞台上演とは異なり、作品世界における人物や事象の「関係性」や「コンテクスト」を俯瞰的に見づらいうことに尽きる。同時にこれらは、頭数を揃えて集まることが困難になった現在の社会で、私たちがいまも見失ってしまいそうな物事の本質ともいえる。

「自律的に発信することや、お互いの波動によって影響し合うことがこれからもっと大事になると思います。それぞれの波動には強いも弱いも速いも遅いも関係なく、受け止めるアンテナである身体がそれぞれのカチで立っていることを知る、それでいいと思います」と白神は語る。

私たちは生まれながらにして、独自で、多様で、心地よく離れている。だからこそ互いの姿や心がよく見えるし、混ざり合うことなく想像することができる。本作はそんなことを問いかけてくる作品である。

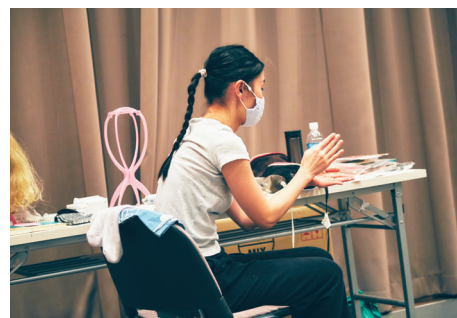
取材・文: 住吉智恵 (アート・プロデューサー、ライター、Real Tokyoディレクター) 撮影: 鈴木 渉



Photo: 北川姉妹

モモンガ・コンプレックス

白神ももこ、衣装デザインや保育士、イラストレーター、パリストなど、それぞれ異なる職能を持つ多彩なパフォーマーで構成される「ダンス・パフォーマンス的グループ」。2005年に活動を開始、日常生活の中の些細な出来事、個人史、小さな願望から着想したダンス作品を発表する。シンプルでくだらないことの中に本質を見出し、親しみやすさと人生のぬかるみを共存させた作品群は、コンテンポラリー・ダンス界でもひととき異彩を放つ。



急な坂スタジオでの稽古風景



Photo: 北川姉妹

白神ももこ

桜美林大学文学部総合文化科学卒業後、「モモンガ・コンプレックス」を結成、全作品の構成・振付・演出を担当。無意味、無駄を積極的に取り込み、ユニークで豊穣な身体、空間を立ち上げる。フェスティバル/トーキョーではF/Tモブ(12)の振付、F/T/H「春の祭典」の総合演出・振付を手がけている。近作に、キラリ☆ふじみダンスカフェスペシャルコラボレーション『幻想曲』(コンセプト・ディレクション/20)、モモンガ・コンプレックス『とりの誰か、向こうの何か』(19)など。富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督。